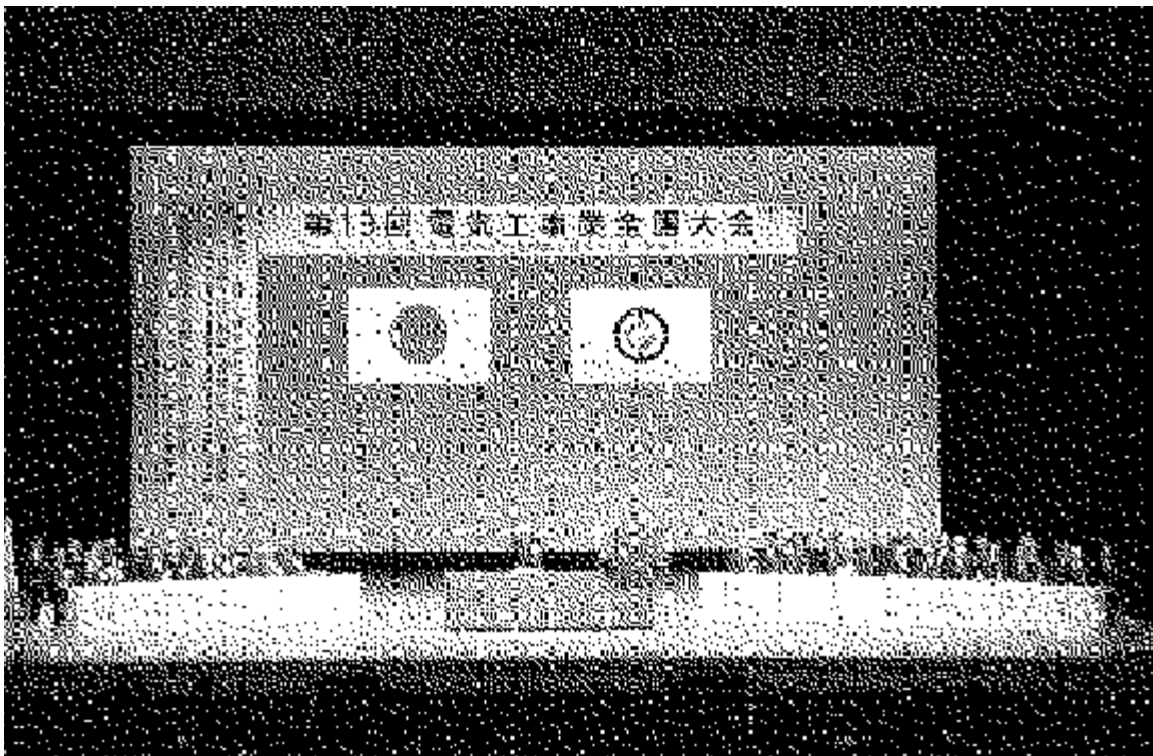


第 19 回全国大会、盛大に開催



全国から 1,300 余名の参加者が集い、大きな盛り上がりを見せた大会式典

提案型技術営業、電気保安分野へ 組織をあげた取り組み誓う

(2 ~ 5 面に関連記事)

全日本電気工業組合連合会(徳住一朗会長)主催、四国電気工事組合連合会(越智亀一会長)主管による第 19 回電気工事業全国大会が 11 月 7 日、秋晴れの下愛媛県松山市内の愛媛県民文化会館において来賓、組合員、青年部等 1,300 余名が参加し盛大に開催された。大会テーマに『山・川・海 自然あふれる四国で語ろう供輝く未来備え、またサブテーマに、信頼関係に基づく需要家の立場に立った提案型技術営業の展開とその条件整備』、電気保安分野への組織をあげた取り組みと一段の規制緩和の要請』を掲げ、全日電工連の重要課題の一つである提案型技術営業とともに電気保安の推進・確保に組織を挙げて取り組んでいくことを決議し、まさに電気工業界にとって一大転機となる大会となった。同大会は主管である四国電気工事組合連合会のスムーズな運営により、スポーツジャーナリストの二宮清純氏による記念講演、大会式典、僉アトラクション、全国からの参加者の交流の場となった僉懇親会と滞りなく行なわれた。

同大会式典は予定通り当日午後 2 時 50 分、国家斉唱で幕を開け、物故者への黙祷に続き、今大会を主管した四国電気工事組合連合会長で、同大会実行委員長の越智亀一氏が全国からの参加者を前に歓迎の辞を兼ねた開会の辞を次のように述べた。

「全国各地から大勢の皆様が御出席いただき、心より御礼申し上げます。四国での大会は、平成 3 年の香川大会以来 11 年振りの開催となります。今大会のテーマは『山・川・海 自然あふれる四国で語ろう供輝く未来備え、また一層の飛躍を期待するとともに、豊

かな自然あふれる四国を舞台に多くの成果をお持ち帰り頂きたい。」
続いて主催者挨拶として徳住一朗全日電工連会長は、「昭和 58 年以来全国各地を巡る形で開催してきた電気工事業全国大会も今年で第 19 回目を迎え、各開催地における地域社会の皆様方に業界の実情を理解していただく場として大きな意義がございました。これもひとえに、各界各位の御指導と多くの諸先輩方並びに全国所属組合員の御協力の賜物であります。」と関係各位に感謝の意を表し、「今回の第 19 回全国大会は深刻な不況の只中にあると同時に規制緩和の促進に伴う業界間の競争も激化し厳しい経済環境の中で迎える大会であります。電気工事業界においても需要形態の転換期を迎える時代にあって、我が業界の営業形態もより需要家の立場に立った提案型技術営業への転換が不可欠となっております。」と国民の生活様式が多様化、高度化に伴う需要構造の変化に触れた。



挨拶する徳住会長

また一昨年 7 月に改正電気事業法が施行され、一般用電気工作物調査業務について調査機関への規制緩和が行なわれたことに対し、

広告スペース



全日電工連
東京都港区芝2-9-11
全日電工連会館 1F
TEL 03(5232)5861
FAX 03(5232)6855

広告スペース

全日電工連
全日本電気工業組合 連合会

URL
<http://www.znd.or.jp>
E-mail
zennichi@znd.or.jp

全日電工連のホームページがリフレッシュされて、わかりやすく便利になりました。

〒105-0014
東京都港区芝2-9-11
全日電工連会館 1F
TEL 03(5232)5861
FAX 03(5232)6855

提案型技術営業の展開と条件整備を

第19回電気工事業全国大会決議

大会決議

- 1、信頼関係に基づく需要家の立場に立った提案型技術営業の展開とその条件整備
- 2、電気保安分野への組織をあげた取り組みと一段の規制緩和の要請

『山・川・海 自然あふれる 改革に取り組み、それに民 間活力を導入した根本的な 来』をメインテーマに掲げ、 日本社会の構造改革に向け 全国の所属組合員、青年部 代表 1,300 余名が一堂 して実施を進めている。 私たち電気工事業界にお いても、このような社会環 境の変化に柔軟に対応して 現状をふまえ、電気工事業 界の構造改革へ向けての意 思統一を図る場である。

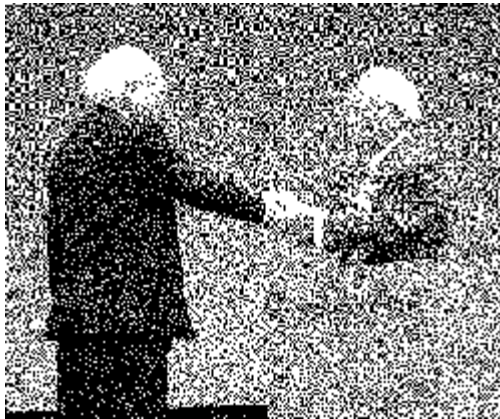
長引く不況が一段と深刻 な状況にあり、先行き不透 明感が払拭できない厳しい 環境のもとに推移している が、一方では、政府は、日 本再生に向けて新たな産業 の創出に努め、規制緩和を 促進するとともに、行財政 と、今後の電気工事業界に 対する、今後の電気工事業 界も参加可能となり、一昨 年 10 月から各電気工事工 業 組合が国の指定調査機関と して参入を開始して以来、 現在では段階的に全国規模 に拡大しているが、今後と も組織をあげて、我が業界 の主要な事業であるとの認 識のもとに、一段の受託拡 大に取り組みべき課題であ る。

さらに、自家用電気工作 物の調査に関する保安業務 についても、現在、一部規 制緩和に向けて検討が進め られているが、私たちは、 今後の動向に注視し真剣に 対策を講じてゆかなければ ならない。

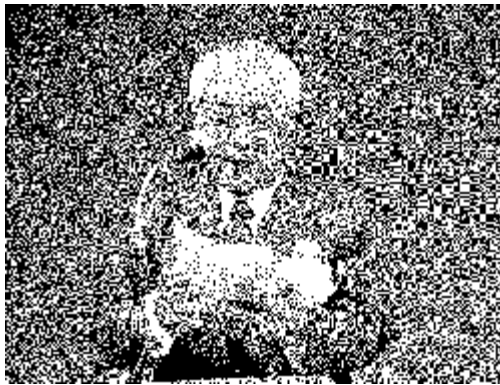
私たちは、今後「危機管 理の認識と発想の転換によ る新規事業への参入」、 「 勇氣、決断、実行、電気工 事業の構造改革への果敢な る挑戦」を共通認識として、 新しい時代の変化に即応し た電気工事業界の実現に向 けて努めてゆかねばならな い。

以上、関係行政、関係 団体のご指導をいただきな がら、これら課題解決に向 けて邁進することを誓い、 本日の大会の名において総 意をもって決議する。

平成 14 年 11 月 7 日



大会決議文を受け取る徳住一郎全日電工連会長



大会決議文を読み上げる関本順市副会長



閉会の辞を述べる加藤金太郎副会長



会場正面のアーチが来場者を迎えた



強い決意で大会式典に臨む執行部



閉会の辞を述べる越智亀一実行委員長



関係団体から多くの来賓が招かれた



3,000人収容可能なメインホールは全国からの来場者で埋まった

広告スペース

地域社会に
根ざす

全日電工連の活動に期待

来賓 組織力と実行力を称賛 祝辞

来賓挨拶では平沼赳夫経 實らが紹介された。
続いて、多数寄せられた 祝電が披露された後、全日 電工連青年部協議会による 意見発表が大西英彦代表幹 事(四国)により行なわれ た。
続いて同大会の大会決議 文を関本順市全日電工連副 会長が力強く読み上げ、こ れを徳住一郎全日電工連会 長に手渡した。
更に、次回全国大会開催 地は中国ブロックの広島県 と、第 20 回電気工業事業全 国大会への参加を呼び掛け た。最後に加藤金太郎全日電 工連副会長の
「只今の決議にありました ように、長引く不況の中各 業界間の垣根を越えた競争 が激化しており、電気工事 業界も強い危機感を持って

り、中国ブロックは大変な 盛り上がりを見せておりま す。来年 11 月 6 日には皆様 がこぞ広島において頂き ますようご案内申し上げま す。」
この困難な状況に取り組ん でいかなければなりません。 全日電工連を中心とした全 国的な規模で各ブロックが 連携を取りつつ、全国組合 員の総力を結集し、新世紀 においても供製・販・工僱 各業界が従来にも増して緊 密な連携・協調の下共に歩 むことを期待します。」
との閉会のことばで、第 19 回電気工業事業全国大会は盛 会裡に幕を閉じた。

青年部意見発表
大西英彦代表幹事(愛媛)



加戸守行愛媛県知事



扇千景国土交通大臣(代読)



平沼赳夫経済産業大臣(代読)



次回開催地挨拶矢田蓮一郎氏(全中国)



大西淳四国電力㈱代表取締役社長



中村時広松山市長(代読)



東芝ライテック㈱塚原淳一代表取締役社長



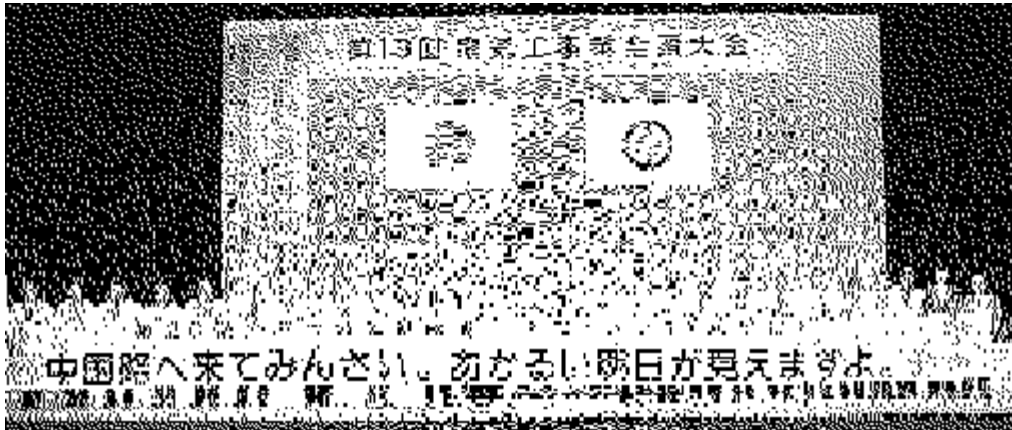
西田一成松下電工㈱代表取締役社長



青年部意見発表
大西英彦代表幹事(愛媛)

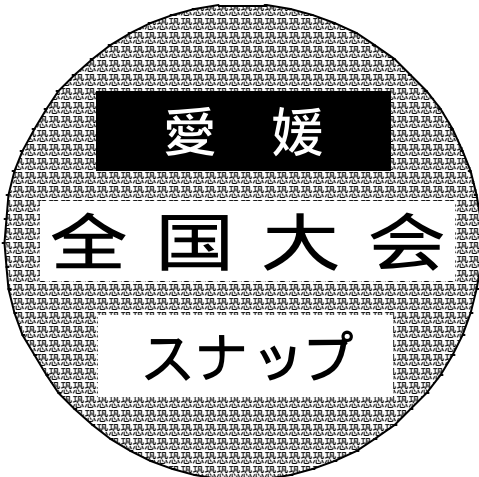


司会の横川昌美さん
(あいテレビアナウンサー)



全中国ブロック組合員らが垂れ幕を持って入場。来年広島で開催予定の第 20 回全国大会への来場を呼びかけた

広告スペース



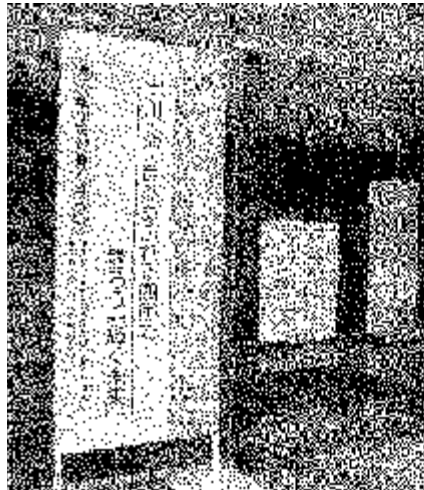
乾杯の音頭をとる高桑電材連会長



小長井山治四国経済産業局
電力・ガス事業部部長



開宴の挨拶をする
越智電一四国連合会会長



大会テーマの看板



北は北海道から南は沖縄まで全国から多くの組合員が集まった



万全の体制で臨む地元の組合員

平成 14 年
秋の栄典

青山氏三重が勲五等

瑞宝章を授賞

(町)

国交省関係
4 氏が栄誉に

政府は 11 月 3 日付で平成 14 (2002) 年秋の叙勲、褒章受賞者を発表し、全日電気連関係では勲五等瑞宝章 2 氏、黄綬褒章 3 氏の計 5 氏が授賞しその栄誉に浴した。

経済産業省資源エネルギー庁関係では、青山登志男、三重県電気工業組合、工事工業組合理事(中由電理事が勲五等瑞宝章を授章した。青山氏の勲章伝達式丘)

【黄綬褒章】

金澤宏治 元岩手県電気工業組合理事(株)金澤電気工業所「一関市桜木町」

原川和三郎 東京都電気工事工業組合組合員(原川電気設備(株)世田谷区太子堂)

吉村克昌 埼玉県電気工事工業組合組合員(株)八洲電業社「さいたま市日進



桜田大臣政務官から賞状及び副賞が手渡された青山氏

広告スペース

時機を捉えた決断スピード

全国大会
記念講演会
講師 スポーツジャーナリスト
勝者の思考法

講師 スポーツジャーナリスト 二宮清純氏

勝つには勝つ理由
負けるには負ける理由

本日は第19回電気工事業の勝敗を隔てた因子は何だろうか、ということ进行研究した本でありますが、本日は、たつぷりとその因子の正体について皆さんにお話しさせていただきますたいと思っております。そして、その話が、皆様のビジネスに何か一二つでもお役に

本日のタイトルの「勝者 立つことがあれば、非常
の思考法」というのは、私 幸甚だと私は思っておりま
が2年前にPHPという出です。

版社から出版させていた。さて、今年いちばん盛
いた本のタイトルでありま上がったスポーツは何か。

す。スポーツの世界というのは、非常に白黒はつきりしており、勝つには勝つ理由、負けるには負ける理由。いわゆる勝敗を隔てる因子の正体というものが、どうしてもはつきりするところであり、そこでは、そのナメントに進出、よくやつ



著述活動やメディアでも活躍する
スポーツジャーナリストの二宮清純氏

＜略歴＞ 1960 年愛媛県八幡浜市生まれ。スポーツジャーナリストとして、オリンピック、W杯、米大リーグ、ボクシング世界戦など国内外で取材活動を行なう。現在 NHK『サundersスポーツ』を始め、スポーツニュースや報道番組のコメンテーターなど幅広く活躍中。主な著書に、『勝者の思考法』(PHP新書)、『奇跡のリーダーシップ』(小学館)『人を動かす勝者の言葉』(東京書籍)など。

ところは妥協しないといふ分けた、そして飴と鞭を
とてきた指導者だつたと
これをやるんだといつたら、
それを貰く。その頑固な姿
といふものは今までの日本
の監督にはないものであつ
たと私は評価しておりま
す。

い分けた、そして飴と鞭を
両方巧みに使い分けること
のできた指導者だつたと
思つております。まず、彼
が韓国代表の監督に就任し
ていちばん最初に行つたこ
とといふのは、敬語禁止令
といふものであります。

トルシ工日本と

ヒディング 韓国の差違

たといえはよくやったといえるでしょう。何しろ、それまで日本代表はワールドカップで1勝もあげることができなかった。それが、2勝もしたわけですから、これはもう大成長ですよ。しかし、同じホストカンントリーでも、お隣の韓国の代表はベスト4ですよ。アジア勢で初のベスト4。ベスト16とベスト4。これ、2段階差がついたわけであります。いったい、この2段階差がついてしまった原因はどこにあるのか。もちろん、ひと言でそれを言い表すことはできませんが、私はその原因の一つに、監督の力量の差というのがあったんではないか、このように思っております。日本代表を率いましたフランス人、フィリップ・トルシエ監督。そして、韓国代表を率いしましたオランダ人、フース・ヒディング監督。この2人の力量の差が私はベスト4とベスト16を隔てた因子の一つではないだろうか、そのように思っております。もちろんフィリップ・トルシエ監督、彼はよくやりました。彼のいちばんいい

ヒディングは、それは韓国の文化、伝統だからもちろん認める。でも、それはグラウンドを離れてからにしてくれ、と断固として改革を進めました。このへんの信念の強さはある意味でトルシエ以上だったと私は思います。その一方で、韓国の選手たちのいい点はい点として認め、そしてそれを伸ばしました。

戦。0対1で負けている。そのときヒディングは、これでもかといわんばかりに攻撃のカードを切つていきましたよ。何と5トップ、2バック。5人ゴールを狙う選手がいて、守っている選手は2人だけ。これ、日本監督だったら、そんなことをやったら、もう1点取られておしまいじゃないか。おそらく、そう考えると思うんです。でも、ヒディングは0対1も0対2も負けは負けなんだと、どんな攻撃のカードを切つていい

発を受けました。サッカーの試合というのは戦争みたいなものなんだ。戦場でないいち敬語を使っていたら流れ弾に当たって死んでしまうぞ、そんな悠長なことなどやっていたらサッカーは勝てない、と。これは韓国社会から非常にパッシングを受けたんですが、ヒルと、奇跡の逆転勝ちを収めた。

（次ページへ続く）

(次ページへ続く)

広告スペース

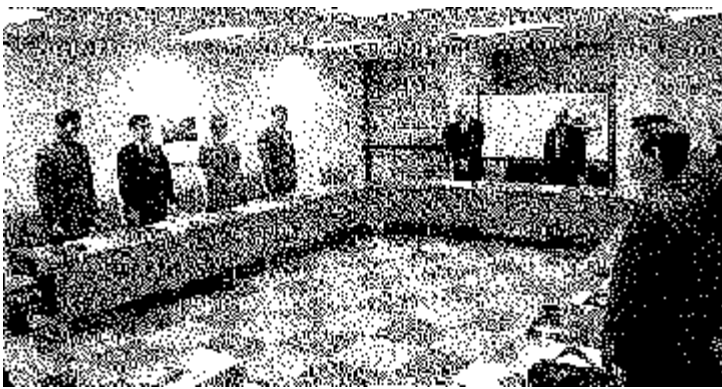
研修会講師の養成を急ぐ

研修内容など統一性が重要

業界活性化委員会

性化委員会（尾池一仁委員長代理）を開催した。先月下旬に新潟県で行なわれた提案型技術営業に関する講演に講師として出演した尾池、寺尾、米沢各氏が会場や出席者の様子を報告。今後研修会を実施していく上で、各工組の理事長や事務局など受け入れ側の体制作りも重要」という意見や、雇用高度化事業として進めてきた提案型技術営業へ向けての条件整備事業と『でんき 元気』キャンペーンとを混同してしまっている組合もある」など同事業の明確な説明の徹底が急がれるという観点から、今後研修会のプログラムや進行スケジュール、研修内容の統一性を持たせるため、標準となるマニュアル作成を急いでいる。

全日電工連は 11 月 19 日、雇用高度化委員会から改称して第三回目となる業界活性化委員会では、スムーズに同事業を進めていくため、全国各地で今後開催される研修会の講師を養成していく。



会議に先立ち急逝した故藤澤委員長に黙祷を捧げた

技術経営委

『でんき 元気』順調な取り組み

来年 2 月 5 日、
双方向 AG ネットを実施

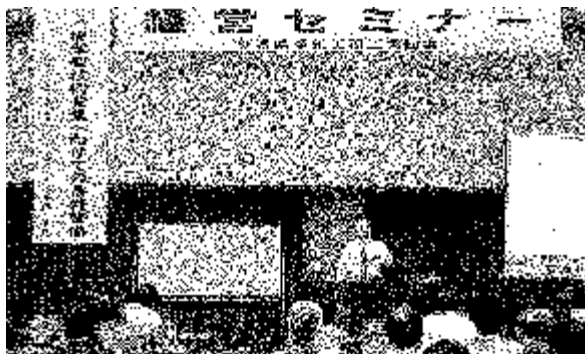
11 月 21 日、技術経営委員会（小澤浩二委員長）が開かれた。昨年 9 月の開始から一年が経過した『でんき 元気』キャンペーンは、各都道府県工組において温度差はあるものの試行錯誤を重ねながら順調に取り組まれており、9 月末時点では延べ約 12、000 名が説明会に参加し、約 4、400 社が同キャンペーンに参加していることが報告された。提案型技術営業に関心が高い工組ではすでに研修会等の講師派遣の要請があり、研修会や説明会のマニュアル作成及び講師の確保や養成を進めていく。また、来年 2 月 5 日（水）に東京・墨田区の「アビリティガーデン」内のメインスタジオと全国 47 所にある雇用・能力開発機構都道府県センターを結んで双方向通信を行なう『AG ネット』が実施されることを受け、同委員会では出演者、実施内容の確認などの打ち合わせを進めている。

新潟

提案型技術営業の講演を開催

3 会場で 200 名の受講者が集う

新潟県電気工事工業組合（小林清吉理事長）は 10 月 21 日（水）から 23 日（金）の 3 日間にわたって、平成 14 年度経営セミナーを開催し、上越、長岡、新発田の 3 会場で全日電工連業界活性化委員会（旧電気工業産業雇用高度化委員会）の委員を講師として招き、提案型技術営業へ向けての条件整備」と題し、長期にわたる不況を背景に電気工業界が現在抱える問題点及び将来にわたる展望を語る講演を実施した。



85 名の受講者が集まった長岡会場では米沢委員が講師を務めた



36 組合の総代として表彰状を授与される小澤理事長

この優良組合の部の表彰では、全国から選ばれた 36 組合を代表して小澤浩二理事長が総代として壇上に上がり、表彰状を授与された。昭和 43 年の第 20 回大会以来 34 年振りに埼玉県で開催された同大会には、全国から約 6、700 名の中小企業団体の代表者が集い、中小企業が時代のニーズに即応して積極的にその期待に応えていくために重点事項を決議し大会宣言を行なった。

埼玉工組

優良組合の部で表彰

中小企業団体全国大会において

営者になったつもりでお客様に積極的に提案していきが大事だ」と締めくくった。



全日電工連では今後も公的資格取得を積極的に支援していく

広告スペース



島根県工組

38の数字を課題に 技能コンクール

島根県電気工事工業組合（矢田蓮一郎理事長）は10月6日、第38回電気工事

技能コンクールを開催し、参加した組合員各社の電気工事士20名が日頃培った腕を競い合った。

同コンクールは電気保安及びサービスの向上、後継者育成を目的として毎年開催されており、最優秀賞として島根県知事賞、優秀賞として中国電力（株）島根支店長賞、また理事長賞が制定されている。毎年同県松江市と出雲市で交互に実施されており、今年も秋晴れの好天に恵まれ、島根県職業能力開発促進センターにおいて開かれ、来賓、家族、組合員や従業員ら多数が見守るなか熱気溢れる盛り上

りとなった。開会にあたり矢田蓮一郎大会会長は、「このコンクールは今年で38回を数える歴史ある大会であります。県内の電気工事士のレベルアップにつながることはもとより、安全作業の推進、お客様サービスの向上、後継者育成に大きく寄与するものであり、電気工業界全体の信頼を勝ち取るものであります。」と挨拶。

続いて、来賓の島根県商工労働部の富田部長、中国電力（株）島根支店の佐藤支配人、支社長らから、それぞれ祝辞が述べられた後、近藤審査委員長（中国電力（株）販売事業本部マネージャー）から課題の説明および競技上の注意があった。

課題テーマは今回が第38回大会であることから、

「38の数字を形にしたもので、各選手たちは来賓、従業員、家族の見守るなか、2時間の制限時間のなか、安全性や正確度、美観、堅牢性、迅速さ、作業態度を競った。

入賞者は次のとおり。（敬称略）
最優秀賞 島根県知事賞）
及び金賞（工組理事長賞）
大成電気水道工業（株）
曾田和則

優秀賞（中国電力（株）島根支社長）及び銀賞（工組理事長賞）
八興電気（株） 岡田正志
島根電気（株） 川本銀次
銅賞（工組理事長賞）
神州電気（株） 桑谷 誠
神州電気（株） 森山昌樹
大成電気水道工業（株）
曾田和則

新島根県電気工事工業組合（小林清吉理事長）は、引込線工事作業訓練を10月30日、31日の二日間に行っていた。

同工組は、過去に起きた事故をきっかけに安全に対して本格的に取り組むことを諸般の事情により利用でき

かつたため調整され、58点以上と修正された。合格者の内訳を年齢別にみると26歳が2、884名（26.0%）、次いで39歳が2、307名（20.8%）、21歳が2、116名（19.1%）となっている。最高齢は71歳、最若齢は15歳が20名合格しており、女性も113名が合格している。

この筆記試験合格者1、093名に同試験免除者を加えた者が、12月8日に実施される同技能試験を受験することになる。

なお、これらの試験結果については合否に関わらず受験者全員に通知されたほか、同試験センターのホームページ（HP）でも受験番号による試験結果を検索できる。

平成14年度第一種電気工事士 試験センター 合格率は42.2%

技能試験は12月8日、12月9日の二日間に行っていた。

この筆記試験合格者1、093名に同試験免除者を加えた者が、12月8日に実施される同技能試験を受験することになる。

なお、これらの試験結果については合否に関わらず受験者全員に通知されたほか、同試験センターのホームページ（HP）でも受験番号による試験結果を検索できる。

奈良県電気工事工業組合青年部（藤原治会長）は10月4日、奈良市の春日野に於いて青年部創立十周年記念式典を開催。来賓、近畿2府3県各青年部部長、関係団体、青年部会員等約100名が出席した。

第一部の式典では、藤原治青年部会長の「電気工業界の厳しい状況を打破し、新たな創造が出来るのは活力と創造力のある青年部である。」との力強い挨拶に始まり、各来賓の挨拶の後、功労者表彰として青年部初代会長である吉田太三奈良県工組理事に感謝状と当日披露された青年部の徽章とブルゾンが進呈された。

第二部として、奈良県橿原市出身で「ITソリューション開発企業として目覚ましい成果を挙げている珂メディベルの仲嶋聖社長による特別講演『ハイブリッドの時代』が開催され、最先端の情報技術と電気工業との関わりや今後の可能性について会員、来賓も交えて熱い議論が交わされた。

式典後に開催された交流会では、来賓、青年部会員も交え、和やかに懇親を深めた。

新 潟 引込線工事作業訓練 TBM、KYT

新島根県電気工事工業組合（小林清吉理事長）は、引込線工事作業訓練を10月30日、31日の二日間に行っていた。

同工組は、過去に起きた事故をきっかけに安全に対して本格的に取り組むことを諸般の事情により利用でき

かつたため調整され、58点以上と修正された。合格者の内訳を年齢別にみると26歳が2、884名（26.0%）、次いで39歳が2、307名（20.8%）、21歳が2、116名（19.1%）となっている。最高齢は71歳、最若齢は15歳が20名合格しており、女性も113名が合格している。

この筆記試験合格者1、093名に同試験免除者を加えた者が、12月8日に実施される同技能試験を受験することになる。

なお、これらの試験結果については合否に関わらず受験者全員に通知されたほか、同試験センターのホームページ（HP）でも受験番号による試験結果を検索できる。

奈良県電気工事工業組合青年部（藤原治会長）は10月4日、奈良市の春日野に於いて青年部創立十周年記念式典を開催。来賓、近畿2府3県各青年部部長、関係団体、青年部会員等約100名が出席した。

第一部の式典では、藤原治青年部会長の「電気工業界の厳しい状況を打破し、新たな創造が出来るのは活力と創造力のある青年部である。」との力強い挨拶に始まり、各来賓の挨拶の後、功労者表彰として青年部初代会長である吉田太三奈良県工組理事に感謝状と当日披露された青年部の徽章とブルゾンが進呈された。

第二部として、奈良県橿原市出身で「ITソリューション開発企業として目覚ましい成果を挙げている珂メディベルの仲嶋聖社長による特別講演『ハイブリッドの時代』が開催され、最先端の情報技術と電気工業との関わりや今後の可能性について会員、来賓も交えて熱い議論が交わされた。

式典後に開催された交流会では、来賓、青年部会員も交え、和やかに懇親を深めた。

ISO 取得説明会を実施

花全関東電気工事協会（関本順市会長）は11月12日、国際的なマネージメントシステムであるISO取得に関する説明会を東京・築地の電気工事会館で

開催した。近年各企業でのISO認証取得が相次いでいるが、顧客満足度の向上と品質に関する仕組みの継続的改善を目指す品質マネジメントシステムである「ISO9001」及び環境保全と環境に関する継続的改善を目指す環境マネジメントシステムである「ISO14001」という電気工事業者に関心があるシステムについて、

ISO取得に関する説明会を開催した。近年各企業でのISO認証取得が相次いでいるが、顧客満足度の向上と品質に関する仕組みの継続的改善を目指す品質マネジメントシステムである「ISO9001」及び環境保全と環境に関する継続的改善を目指す環境マネジメントシステムである「ISO14001」という電気工事業者に関心があるシステムについて、

ISO取得に関する説明会を開催した。近年各企業でのISO認証取得が相次いでいるが、顧客満足度の向上と品質に関する仕組みの継続的改善を目指す品質マネジメントシステムである「ISO9001」及び環境保全と環境に関する継続的改善を目指す環境マネジメントシステムである「ISO14001」という電気工事業者に関心があるシステムについて、

ISO取得に関する説明会を開催した。近年各企業でのISO認証取得が相次いでいるが、顧客満足度の向上と品質に関する仕組みの継続的改善を目指す品質マネジメントシステムである「ISO9001」及び環境保全と環境に関する継続的改善を目指す環境マネジメントシステムである「ISO14001」という電気工事業者に関心があるシステムについて、

ISO取得に関する説明会を開催した。近年各企業でのISO認証取得が相次いでいるが、顧客満足度の向上と品質に関する仕組みの継続的改善を目指す品質マネジメントシステムである「ISO9001」及び環境保全と環境に関する継続的改善を目指す環境マネジメントシステムである「ISO14001」という電気工事業者に関心があるシステムについて、

ISO取得に関する説明会を開催した。近年各企業でのISO認証取得が相次いでいるが、顧客満足度の向上と品質に関する仕組みの継続的改善を目指す品質マネジメントシステムである「ISO9001」及び環境保全と環境に関する継続的改善を目指す環境マネジメントシステムである「ISO14001」という電気工事業者に関心があるシステムについて、

創立十周年記念式典を開催

奈良県電気工事工業組合青年部（藤原治会長）は10月4日、奈良市の春日野に於いて青年部創立十周年記念式典を開催。来賓、近畿2府3県各青年部部長、関係団体、青年部会員等約100名が出席した。

第一部の式典では、藤原治青年部会長の「電気工業界の厳しい状況を打破し、新たな創造が出来るのは活力と創造力のある青年部である。」との力強い挨拶に始まり、各来賓の挨拶の後、功労者表彰として青年部初代会長である吉田太三奈良県工組理事に感謝状と当日披露された青年部の徽章とブルゾンが進呈された。

第二部として、奈良県橿原市出身で「ITソリューション開発企業として目覚ましい成果を挙げている珂メディベルの仲嶋聖社長による特別講演『ハイブリッドの時代』が開催され、最先端の情報技術と電気工業との関わりや今後の可能性について会員、来賓も交えて熱い議論が交わされた。

式典後に開催された交流会では、来賓、青年部会員も交え、和やかに懇親を深めた。

奈良県電気工事工業組合青年部（藤原治会長）は10月4日、奈良市の春日野に於いて青年部創立十周年記念式典を開催。来賓、近畿2府3県各青年部部長、関係団体、青年部会員等約100名が出席した。

第一部の式典では、藤原治青年部会長の「電気工業界の厳しい状況を打破し、新たな創造が出来るのは活力と創造力のある青年部である。」との力強い挨拶に始まり、各来賓の挨拶の後、功労者表彰として青年部初代会長である吉田太三奈良県工組理事に感謝状と当日披露された青年部の徽章とブルゾンが進呈された。

第二部として、奈良県橿原市出身で「ITソリューション開発企業として目覚ましい成果を挙げている珂メディベルの仲嶋聖社長による特別講演『ハイブリッドの時代』が開催され、最先端の情報技術と電気工業との関わりや今後の可能性について会員、来賓も交えて熱い議論が交わされた。

式典後に開催された交流会では、来賓、青年部会員も交え、和やかに懇親を深めた。

広告スペース

奈良県電気工事工業組合青年部（藤原治会長）は10月4日、奈良市の春日野に於いて青年部創立十周年記念式典を開催。来賓、近畿2府3県各青年部部長、関係団体、青年部会員等約100名が出席した。

第一部の式典では、藤原治青年部会長の「電気工業界の厳しい状況を打破し、新たな創造が出来るのは活力と創造力のある青年部である。」との力強い挨拶に始まり、各来賓の挨拶の後、功労者表彰として青年部初代会長である吉田太三奈良県工組理事に感謝状と当日披露された青年部の徽章とブルゾンが進呈された。

第二部として、奈良県橿原市出身で「ITソリューション開発企業として目覚ましい成果を挙げている珂メディベルの仲嶋聖社長による特別講演『ハイブリッドの時代』が開催され、最先端の情報技術と電気工業との関わりや今後の可能性について会員、来賓も交えて熱い議論が交わされた。

式典後に開催された交流会では、来賓、青年部会員も交え、和やかに懇親を深めた。

奈良県電気工事工業組合青年部（藤原治会長）は10月4日、奈良市の春日野に於いて青年部創立十周年記念式典を開催。来賓、近畿2府3県各青年部部長、関係団体、青年部会員等約100名が出席した。

第一部の式典では、藤原治青年部会長の「電気工業界の厳しい状況を打破し、新たな創造が出来るのは活力と創造力のある青年部である。」との力強い挨拶に始まり、各来賓の挨拶の後、功労者表彰として青年部初代会長である吉田太三奈良県工組理事に感謝状と当日披露された青年部の徽章とブルゾンが進呈された。

第二部として、奈良県橿原市出身で「ITソリューション開発企業として目覚ましい成果を挙げている珂メディベルの仲嶋聖社長による特別講演『ハイブリッドの時代』が開催され、最先端の情報技術と電気工業との関わりや今後の可能性について会員、来賓も交えて熱い議論が交わされた。

式典後に開催された交流会では、来賓、青年部会員も交え、和やかに懇親を深めた。

広告スペース

四国ブロック青年部協議会

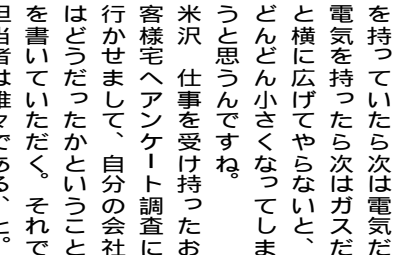
青年部
シリーズ

次代をう われらが青年部

第一日目



米沢 寛氏 (石川)



大門 孝氏 (秋田)

全日電工連青年部協議会は 11 月 6 日(水)に愛媛県民文化会館 2 階真珠の間で、翌 7 日(木)には同サポホールにおいて、全国大会に先立ち青年部組合員有志による全国青年部協議会意見交換会を開催した。第一日目は徳住一郎全日電工連会長を招き、日本刀への造詣が深いことから『刀』と題した講演が、また石川県電工工事工業組合常務理事の米沢寛氏と秋田県電工工事工業組合理事の大門孝氏が基調講演を行なった。大会当日に当たる第二日目も全日電工連業界活性化委員会、旧産業雇用高度化委員会、委員の寺尾三樹男氏(神奈川県工組常務理事)並びに共栄電気(株)常務取締役の斎藤賢氏(新潟県工組理事)によるパネルディスカッションが約 1 時間にわたり行なわれた。

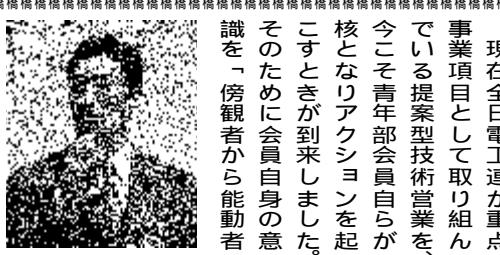


大会当日開催されたパネルディスカッションの様

第二日目



寺尾三樹男氏 (神奈川)



齋藤 賢氏 (新潟)



『刀』と題した講演を行なった徳住全日電工連会長

米沢 会社規模の大小というの、もはや時代の要請ではないと思っています。今、時代が求めているものは何かと言えば、お客さんの需要を見抜き、それに答えていく決断の早さ。それが早い会社か遅い会社か。そういう意味では、自分にとって、いかにお客さんにとって役に立っている会社かということなどを判断基準に置いています。

大門 最近の電工工事受験者の傾向を調べたんですが、受験者全体の 4 割強はガスや水道屋さん、リフォーム会社とか、そういう異業種からの電工工事士への受験が非常に増えているということです。

市場規模が小さくなって

いるから、同じことをやっている人が減るのはありがたい。と、決算で電気をいれる、と。それで、おたくで今日から扱って、という話もくるようになった。そういう意味では、何でも目のつけどころだな、と思います。大会社といつても、各分野で担当している者はやはり 2、3 人です。から、会社規模の大きい小さいは関係ないと思います。

あと、小さな会社ですと現場で色々な業者さんとおつきあいなさっていると思ふんですけど、そういう人たちとチームを組むべきだ、というふうに思っています。

お客さんから、ちょっと玄関が暗い、店のショールームが暗い、という電話がかかってきた時に、何人かを連れて行くんです。そして一緒に話を聞いて、もちろん電気が暗いと言われたんだから明るさを提案しますけれども、電気を換えて、クロスかけて、床材を変えるところなというのを、内装屋さんにはパソコンで 3 次元の図面できれいに出してもらおう。そうすると、お客さんのはのってくる。平面図では絶対イメージがわからないから、お客さんのことを考えたらそこまでするべ

寺尾 直接営業というのは工務店さんからの苦情が多いという意見は、先日新潟で行なった講習会でも出ました。やはり、そういった工務店さんの意識も変えるように、われわれも努力しなくてはいいのかなと常日頃思っております。

私 の 場 合 は、工務店あるいは不動産といった方々の仕事が多いですが、絶えずそういった話ができるような環境づくりに自分自身は努めております。

日々顔を出して、いろいろな世間話をしながら、そういった方向に、われわれが仕事をしやすいような環境づくりに努めることがまず第一だなあと、こんなふうに思っています。仕事が終わったらあともお客様のところへ気軽に顔を出すように努めていた方がいいな、と。

一人でやっているから忙しいとか、人手がないとかそれは言い訳でございまして、やはりこまめにあとのフォローをするということ、が、まさしく提案型技術営業に結びつく。まあ顧客確保に基づいた営業展開になるのではないかと思います。盆、暮れにただ顔を出すだけではだめだと思ふんです。普段の日常が営業活動とこんなふうに通じております。

意見交換会報告

香川県青年部 佐藤佳生会長

全国の青年部会員の皆様の御参加誠に有難うございました。全国より 350 名を超える参加を頂き心より御礼申し上げます。昨年の名古屋大会から引き継ぎ、今回も提案型技術営業にテーマを絞って意見交換会では、例を身近に感じる事により提案型技術営業がどういったことなのか理解できたと思います。皆抱えてい

る問題は同じで、時間や人材の不足からなかなか実行出来ないというのが現実です。

会場が狭く感じられるほど盛り上がった意見交換会を通して、さらに皆様の交流が深まり、全国の仲間になれないよう自ら変わっていかねばならない。と、そんな気持ちになって頂ければ幸いです。

広告スペース